

## ふくのわプロジェクト概要

## 1 はじめに

本プロジェクトでは、トラックが集荷に伺います。  
各学校では、不要になった衣類を集めて事前計量して頂く  
だけで参加可能です。

## 1 事業目的等

- ・ 寄付していただいた衣類を、リユース専門業者に買い取ってもらい、その収益金をパラリンピック競技団体に寄付し、パラスポーツを応援しよう！という活動です。
- ・ 衣類は、主にマレーシアに運ばれ、東南アジア15か国の中古衣料マーケットで販売されるほか、産経新聞社が不定期で開催する「ふくのわマルシェ」でも販売します。

## 2 2018年の活動について

- ・ 178校が参加し、約20トンもの衣類が集まりました。
- ・ 2019年5月、(一社)日本身体障がい者水泳連盟、NPO法人日本パラ・パワーリフティング連盟、日本障害者カヌー協会、(一社)日本パラバレーボール協会の4競技団体に、ふくのわプロジェクト事務局から収益金が寄付され、パラ・パワーリフティング連盟は、代表選手の競技用ウェアを制作しました。

## 3 これまでに実施した学校の声

- 手薄になりがちな環境教育にも役立ちました。
- 親子でパラスポーツを応援でき、保護者の評判も良いです。
- 生徒が話題にし、教育的効果を感じています。 など

※ 授業や特別活動に取り入れることもできますので、別紙2「ふくのわプロジェクト学校での取組事例」も併せて、御参照ください。



#### 4 回収可能な衣類

- 大原則は、そのままの状態です。
  - 洗濯又はクリーニングしたものであれば、男性・女性・子供・マタニティー服、夏物・冬物問いません。
- ※ 回収した衣類は、水に濡れないよう、保管に十分注意してください。

#### 回収可能

- ・ まだ着られる衣類(スーツ、ドレス、パジャマ、Tシャツ、子供服も可)
- ・ 和服、帯、ネクタイ、スカーフ
- ・ 靴下、下着、水着(洗濯済みなら中古も可) など

#### 回収不可

- ・ ダメージのある衣類(やぶれ、しみ、カビ、ボタン破損など)
- ・ 学校指定のもの(制服、作業着、体育着、ユニフォームなど)
- ・ 反物、生地
- ・ 濡れたままのもの など

※ 靴下は、回収・保管・集荷時に、ペアで揃えた状態となるよう、御協力をお願いします。

スーツ、パジャマなどは、上下揃っていないだけでも回収可能ですが、上下で回収する際は、回収・保管・集荷時に、上下セットの状態とわかるよう衣類を結ぶなど、御協力をお願いします。

回収可能な衣類かどうか迷った場合は…

(問合せ先) (株)産業経済新聞社 ふくのわプロジェクト担当  
03-3275-8656